



大沢地域経営学部長(左)から「大学の学修」修了書を受け取る山内さん

# 大学受講で高校生成長

## 八学光星と八学大など

### 連携事業初の閉講式

#### 八戸

学校法人光星学院(法官  
新一理事長)の八戸学院光  
星高校(小野崎龍一校長)

と八戸学院大学および同大  
短期大学部(学長・法官理  
事長)が本年度始めた高大  
連携事業の閉講式が9月25  
日、八戸市美保野の同学院

図書館で行われた。同大・短大部で5カ月にわたり授業を受け単位を獲得した18人の高校2年生が「大学の学修」修了書を手にした。

大沢泉・同大地域経営学部長が修了生代表の山内麻希さん(普通科進学コース)に修了書を授与。堀合遥希さん(同)が「大学の授業を受け、進学を意識するようになった。さらに自分を磨きたい」とあいさつした。同大人間健康学科2年で女子ラグビー部主将の鈴木佳寿音さんが「大学での経験を今後に生かしておめでとつ」と修了生を祝った。

鈴木さんの妹で同校ラグビー部の光利さん(同)は「大学では数学で問題を解いた時の達成感が大きかった。積極的に課題に取り組み力をこれからも発揮したい」と目を輝かせた。

高校生たちは4月から15コマの講義を大学生らとともに受講。取得した単位は高校の単位として認められるほか、同大・短大部の単位としても認められる。

(若松清巳)